

2025 年 10 月 24 日

各位

会 社 名 株式会社ベクターホールディングス

代 表 者 代表取締役社長 轟木 一博

(コード番号：2656)

問 合 先 取締役 吉田 修

(TEL 03-6304-5207)

資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、2025 年 10 月 24 日開催の取締役会において、2025 年 5 月 30 日付「第三者割当による新株式及び第 12 回新株予約権の発行並びに主要株主の異動に関するお知らせ」にて公表いたしました資金使途について一部変更することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更理由

当社は、当社の収益力の向上及び経常化等の収益基盤の改善や中長期的な財政基盤の強化を企図し、2025 年 5 月 30 日付「第三者割当による新株式及び第 12 回新株予約権の発行並びに主要株主の異動に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社の事業領域である ICT 事業において、既存事業の強化・拡大及び新たな取組みである AI インフラ事業を展開することを目的に、第三者割当による新株式及び新株予約権の発行による資金調達を行いました。

当社は、当該調達資金を活用して、既存の ICT 事業を推進するために、当社が提供する「ベクターサイン」及び「QuickPoint」の各サービスにおける契約社数の増加及びユーザーの獲得・活性化を図ることを目的とした広告費及び販売促進費、並びに事業収益の安定化が達成されるまでに必要な運転資金を確保し、更に、当社の新たな取組みである AI インフラ事業を推進するために必須である先進的な AI 演算に対応可能な高性能サーバーを購入することといたしました。

当社は、当該調達資金を拠出していくにあたり、既存事業である「ベクターサイン」及び「QuickPoint」の広告費及び販売促進費について、各々費用対効果を確認するために当初の予定より拠出額を抑えながら当該費用対効果を検証することで、その結果を踏まえて拠出額の調整をしております。そのような中、広告費及び販売促進費を抑えていることもあり、想定した売上及び利益が計画を下回っているため、当初の予定より運転資金の拠出を優先いたしました。

また、当社としましては、AI インフラ事業は ICT 社会の基盤を支える事業であり、当社の社会的役割を果たすとともに社会的意義を生み出すものとして、当社の将来を担う最重要な事業と位置づけております。さらに、当該事業を推進することによる派生効果として、既存事業において提供する各サービスの多様化及び品質の向上等も期待できることから、結果として当社の企業価値向上に寄与するものと考えております。

そこで、AI インフラ事業を推進するにあたり、専門知識を有する人材の確保及び当該事業を展開し

ていくために必要なパートナー企業との提携に伴う業務委託費等の資金、並びに当該事業推進に係る広報活動費等の資金を確保する必要も出て参りました。

以上のことから、当社は、高性能サーバー及び周辺機器の購入費、運用・保守管理に必要なシステム設計及び稼働環境確保のために協業するパートナー企業に対する業務委託費、専門知識を有する人材確保のための人件費、国内外において演算環境を求めている企業及び研究機関等への広報活動費等のAIインフラ事業に係る事業資金、また、既存事業である「ベクターサイン」・「QuickPoint」・「ダウンロードサイト」におけるプラットフォームを活用したサービスの強化及び多様化に必要なシステムのリニューアル費用、契約社数の増加及びユーザーの獲得・活性化を図ることを目的とした広告費及び販売促進費、事業活動に必要な運転資金等の事業資金について、それぞれの進捗状況に応じて必要な時期及び必要な資金を検証しつつタイムリーに拠出するために、当社の発行した新株式及び新株予約権の行使により調達した資金の使途を一部変更することといたしました。

2. 変更の内容

広告費及び販売促進費総額 388 百万円の内、未支出分 374 百万円を、高性能サーバーの購入資金総額 330 百万円の内、未支出分 198 百万円を、全額、AIインフラ事業及び既存事業に係る事業資金として変更することといたしました。

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。(変更箇所は下線で示してあります。)

<変更前>

【新株式により調達する資金の使途】

具体的な使途	支出予定額	支出予定時期
①広告費及び販売促進費	<u>115</u> 百万円	2025 年 7 月～ <u>2026</u> 年 <u>1</u> 月
②高性能サーバーの購入資金	132 百万円	2025 年 9 月
③借入金返済資金	100 百万円	2025 年 6 月
④運転資金	123 百万円	2025 年 6 月～2025 年 <u>12</u> 月
合計	470 百万円	

【新株予約権の行使により調達する資金の使途】

具体的な使途	支出予定額	支出予定時期
① <u>広告費及び販売促進費</u>	<u>273</u> 百万円	<u>2026</u> 年 <u>1</u> 月～ <u>2027</u> 年 <u>4</u> 月
② <u>高性能サーバーの購入資金</u>	<u>198</u> 百万円	<u>2025</u> 年 10 月～ <u>2027</u> 年 6 月
合計	471 百万円	

<変更後>

【新株式により調達する資金の使途】

具体的な使途	支出予定額	支出予定時期
--------	-------	--------

①広告費及び販売促進費	11 百万円	2025 年 7 月～ <u>2025 年 9 月</u> (全額支出済み)
②高性能サーバーの購入資金	132 百万円	2025 年 9 月 (全額支出済み)
③借入金返済資金	100 百万円	2025 年 6 月 (全額支出済み)
④運転資金	123 百万円	2025 年 6 月～2025 年 <u>9 月</u> (全額支出済み)
<u>⑤AI インフラ事業及び既存事業に係る事業資金</u>	<u>104</u> 百万円	<u>2025 年 10 月～2025 年 12 月</u>
合計	470 百万円	

【新株予約権の行使により調達する資金の使途】

具体的な使途	支出予定額	支出予定時期
① <u>AI インフラ事業及び既存事業に係る事業資金</u>	<u>471</u> 百万円	<u>2025 年 12 月～2026 年 11 月</u>
合計	471 百万円	

※なお、第 12 回新株予約権 37,600 個（3,760,000 株）の内、8,270 個（827,000 株）が 2025 年 8 月 29 日に行使されております。

3. 今後の見通し

今回の資金使途変更による当社の当期（2026 年 3 月期）の業績に与える影響は未定ですが、判明した場合は速やかに開示いたします。

以上